

2012年3月期第1四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2011年8月12日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2011年8月12日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



証拠金規制による当社グループへの影響（足元の状況）

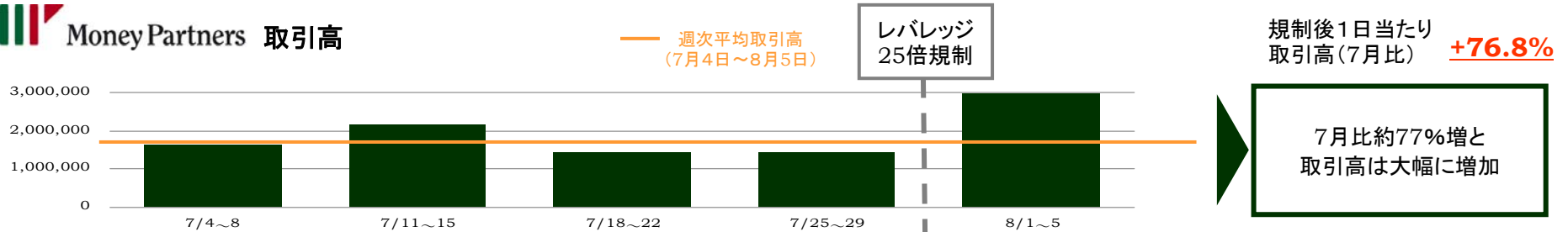
Money Partners Group

■ 証拠金規制（レバレッジ規制）の影響

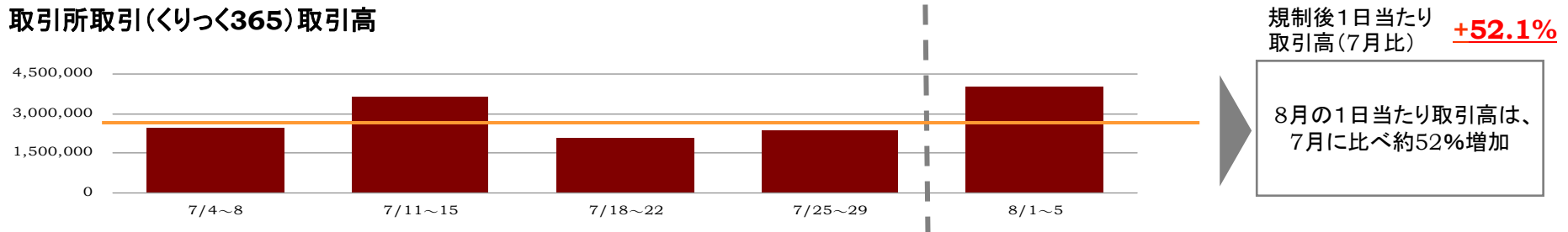
8/1～8/5までの外国為替市場は、介入等の影響もありボラティリティは高水準で推移。取引高も大幅に増加。



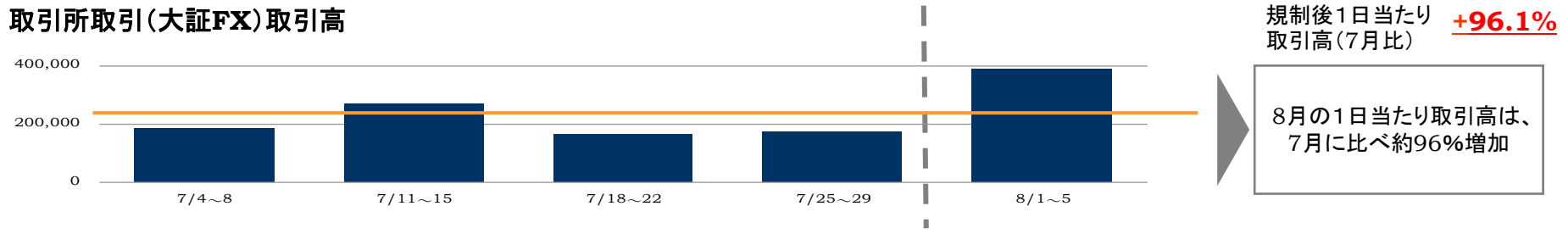
Money Partners 取引高



取引所取引(くりっく365)取引高



取引所取引(大証FX)取引高



ボラティリティの影響を排除して比較した場合、1日当たり取引高は7月平均と比べ△10%～±0%程度と推定。



証拠金規制への対応

◆ 事前の対応について

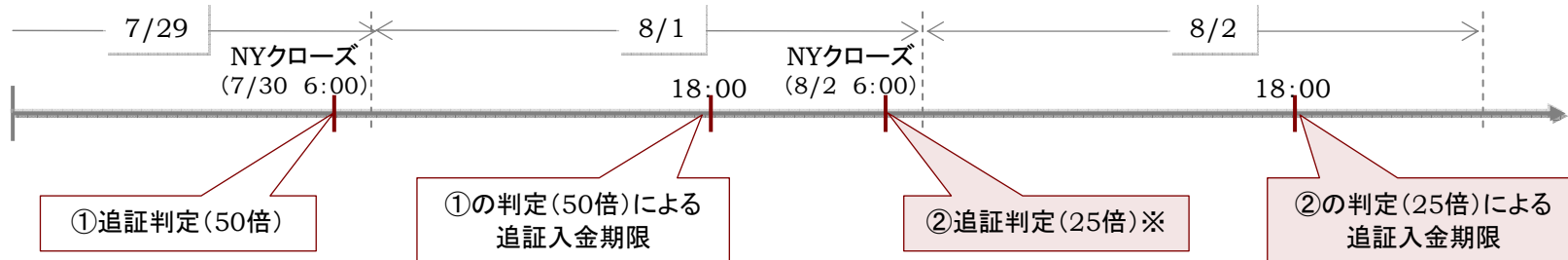
- ・ 規制1ヶ月前から対応開始
- ・ WEBやメールでの周知に加え、DMや電話等でも注意喚起を実施
レバレッジ規制前日(7/31(日))には一部の顧客に向けた特別対応
- ・ FXシステムについては、前回のレバレッジ規制時に対応済のため、特段の変更はなし(パラメータ変更のみ)

◆ レバレッジ規制前後の対応について

- ・ レート急変や問い合わせ増に備え人員を増強

◆ 顧客への影響

- ・ 追加証拠金の判定タイミングによる実質的な影響の軽減



※25倍規制による初回追証期限が8/2 18:00であるため、レバ規制に対する顧客の時間的猶予にゆとりが生じる結果となった

昨年のレバ規制第一弾の結果を踏まえ、
 様々な対応策を考慮、実施した結果、当社への影響は限定的となった。

- I .2012年3月期第1四半期の決算及び事業の概況
- II .2012年3月期第1四半期の取組みと重点課題の進捗状況
- III .当社グループの強みと今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2012年3月期第1四半期の決算及び事業の概況





2012年3月期第1四半期 連結決算の総括とポイント

- ① 口座数は約16.8万口座と順調に拡大。預り証拠金は円高進行に伴い顧客のロングポジションが増加したこと等により前四半期比13.0%増の363億円に。

総口座数	167,644口座	2011/3期末比	3.6%増
預り証拠金	36,317百万円	2011/3期末比	13.0%増

- ② 外国為替取引高は、外国為替市場が4月の比較的高い変動率から右肩下がりで推移したものの4月の短期取引増加の影響等により前四半期比12.5%の増加。

4-6月取引高	約2,704億通貨単位	2011/1-3月比	12.5%増
---------	-------------	------------	--------

- ③ 第1四半期(2011/4-6)の営業収益は2,027百万円(前四半期比2.9%増)、経常利益は98百万円(前四半期比34.0%減)となった。

- ④ 四半期純利益は経常利益の減少により前四半期比31百万円減(35.9%減)の56百万円となった。

- ✓ 取引高は四半期を通じてみると比較的低調な変動率であったが、4月の短期取引の増加等により前四半期比では12.5%増となった。
- ✓ 営業収益は、取引高増加の一方、短期取引増加の影響等により前四半期比57百万円増(2.9%増)とほぼ横ばいとなった。

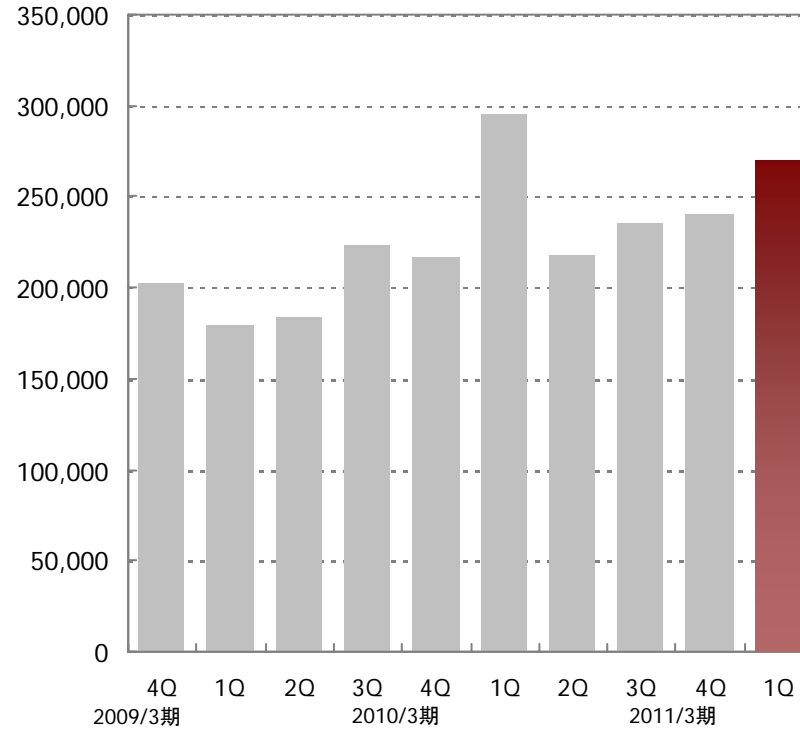


取引高と営業収益

Money Partners Group

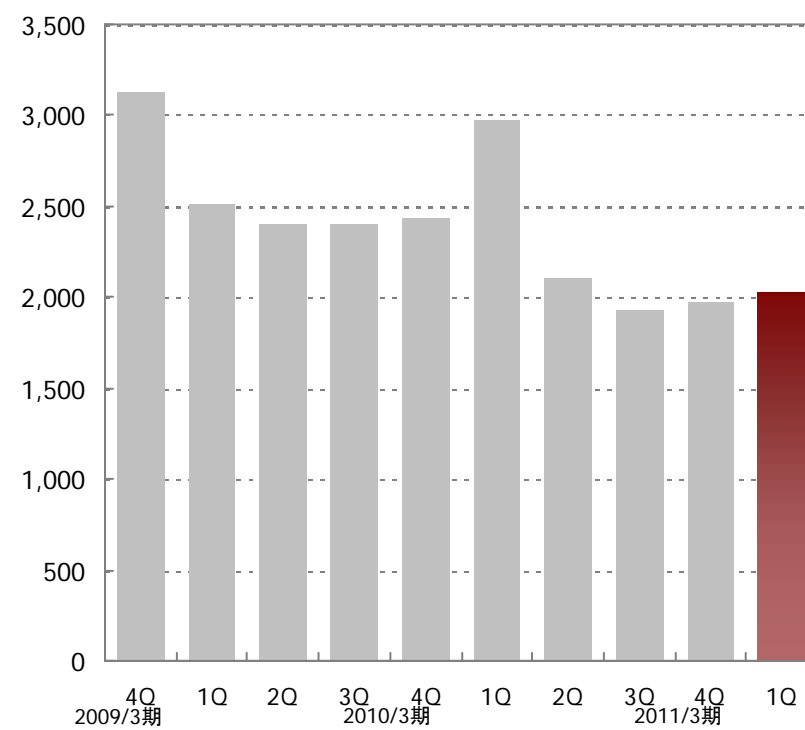
(百万通貨単位)

外国為替取引高



(百万円)

営業収益

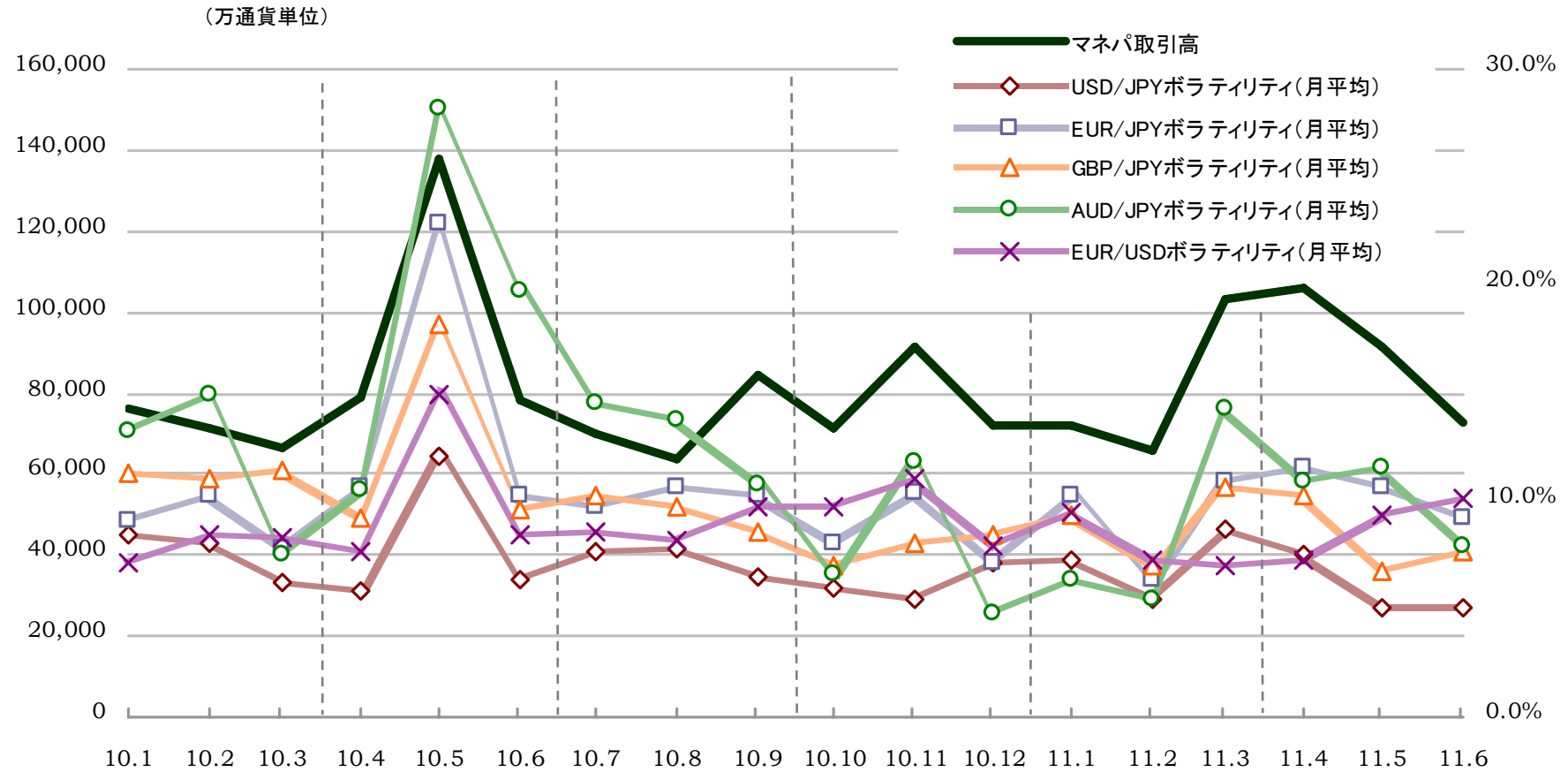


(単位＝外国為替取引高:百万通貨単位、営業収益:百万円)

	09/3期 4Q	10/3期 1Q	10/3期 2Q	10/3期 3Q	10/4期 4Q	11/3期 1Q	11/3期 2Q	11/3期 3Q	11/3期 4Q	12/3期 1Q
外国為替取引高	202,379	179,617	184,039	223,243	213,366	295,234	217,810	235,158	240,340	270,379
営業収益	3,167	2,509	2,394	2,404	2,430	2,976	2,105	1,930	1,969	2,027



【取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移】

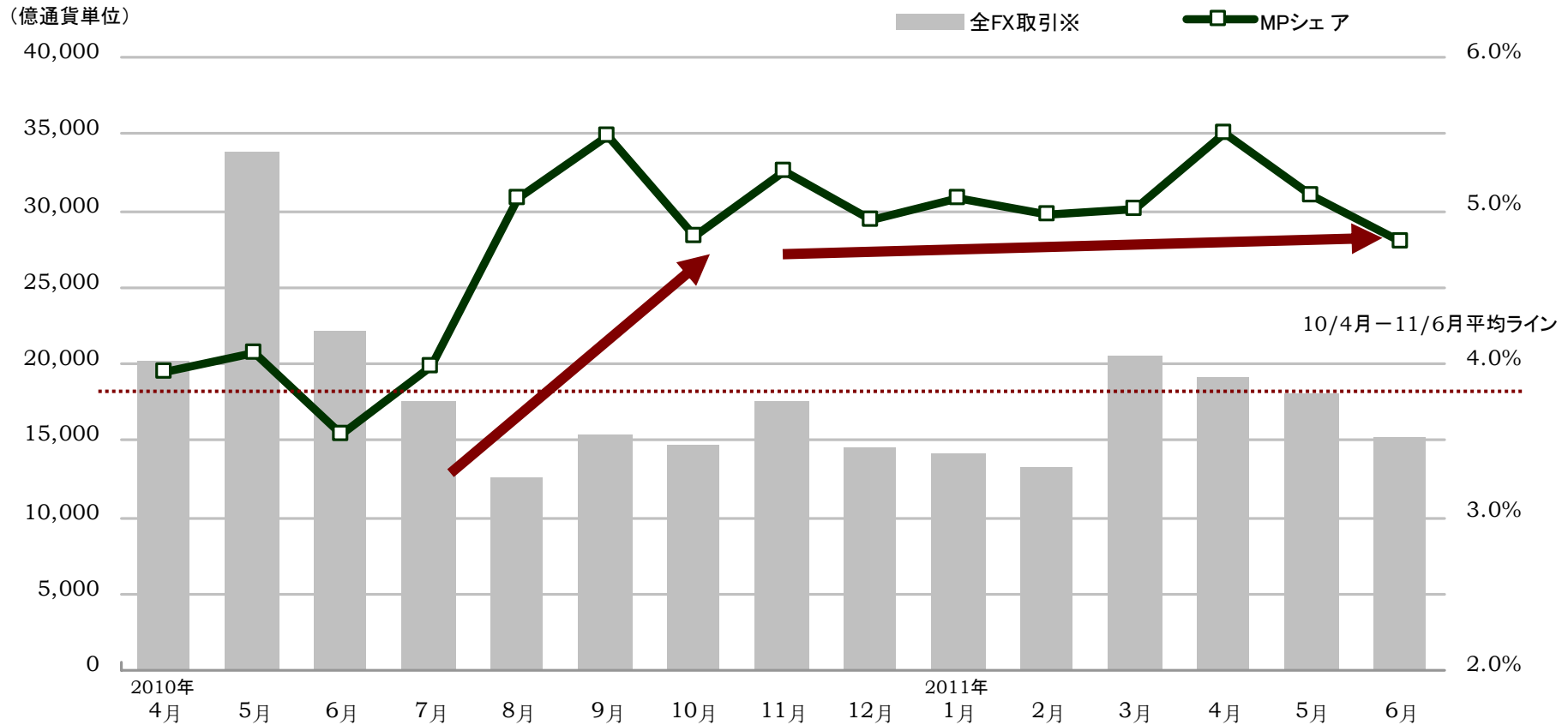


(出所: マネーパートナーズ)

当四半期も総じて低いボラティリティであり、特に5月、6月は全体のボラティリティが極めて低調であった。



【国内全FX取引高と当社取引高シェアの推移】

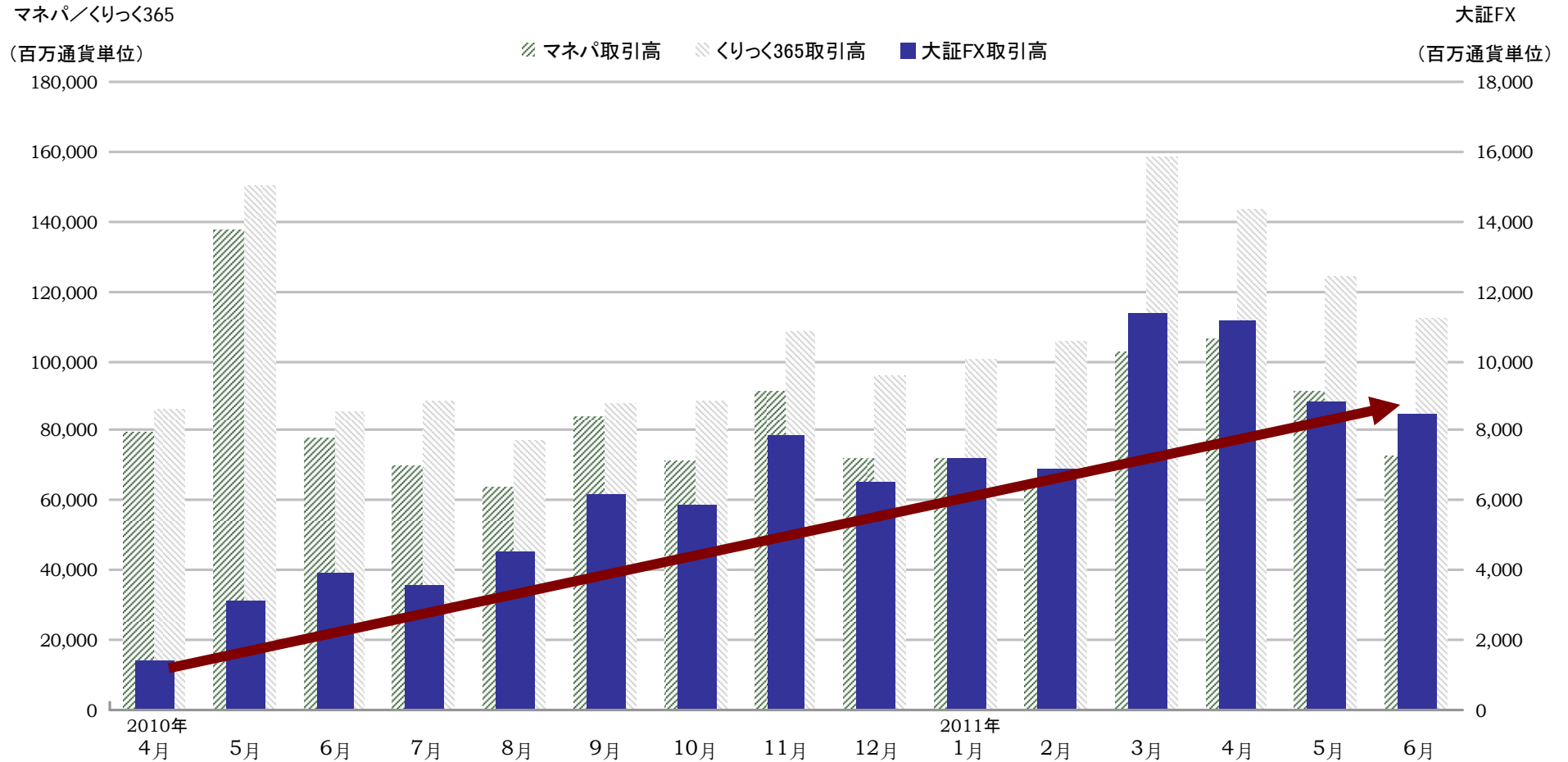


※ 店頭取引(金融先物取引業協会発表) + 取引所取引(各取引所公表)

国内FX市場がボラティリティ低下の影響を受けつつも堅調に推移する中、取引高シェアを維持。



【大証FX取引高と当社及びくりっく365取引高の推移】



大証FXの取引増に伴い、マーケットメイク業務からの収益も増加。



四半期業績推移

Money Partners Group

◆四半期業績推移

単位:百万円

	2010/3期			2011/3期				2012/3期	前四半期 対比増減
	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	
営業収益	2,394	2,404	2,430	2,976	2,105	1,930	1,969	2,027	2.9%
受入手数料	0	0	0	0	0	0	0	3	263.8%
トレーディング損益	2,382	2,381	2,417	2,955	2,077	1,920	1,958	2,015	2.9%
金融収益	5	4	5	6	5	4	4	3	△15.0%
その他の売上高	5	18	7	13	21	5	5	4	△2.3%
金融費用	0	0	2	2	2	2	14	36	149.6%
売上原価	3	10	5	8	14	3	1	1	△18.7%
純営業収益	2,390	2,392	2,423	2,964	2,088	1,925	1,952	1,989	1.9%
販売費・一般管理費	1,912	2,095	2,084	2,265	1,972	1,880	1,796	1,887	5.0%
営業利益	477	297	339	698	115	45	156	102	△34.7%
経常利益	476	295	336	693	107	38	149	98	△34.0%
税金等調整前四半期純利益	476	295	336	671	107	△42	150	94	△37.0%
四半期純利益	334	213	195	394	59	△26	87	56	△35.9%
営業収益経常利益率	19.9%	12.3%	13.8%	23.3%	5.1%	2.0%	7.6%	4.9%	

1. 営業収益は、前四半期比2.9%増と57百万円増収。
2. 営業利益は、販売費・一般管理費や金融費用の増加により前四半期比34.7%の減少となった。



四半期販管費推移

Money Partners Group

◆販管費内訳の推移

単位:百万円

	2010/3期			2011/3期				2012/3期	前四半期 対比増減
	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	
取引関係費	1,057	1,247	1,220	1,369	1,079	1,010	953	973	2.2%
人件費	244	245	239	244	240	239	222	244	9.6%
不動産関係費	268	256	266	260	260	254	243	266	9.2%
事務費	203	210	221	230	238	216	227	233	2.8%
減価償却費	109	112	119	116	123	129	129	124	△3.6%
租税公課	15	11	1	14	13	10	0	10	995.1%
貸倒引当金繰入れ	0	△0	0	0	0	0	4	—	—
その他	12	11	13	28	16	18	14	34	138.8%
販売費・一般管理費合計	1,912	2,095	2,084	2,265	1,972	1,880	1,796	1,887	5.0%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	316	347	344	216	237	204	132	99	△25.2%
システム関連費用(※2)	369	366	387	405	422	388	391	414	5.9%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 旧経理基準における電算機費に相当します。取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

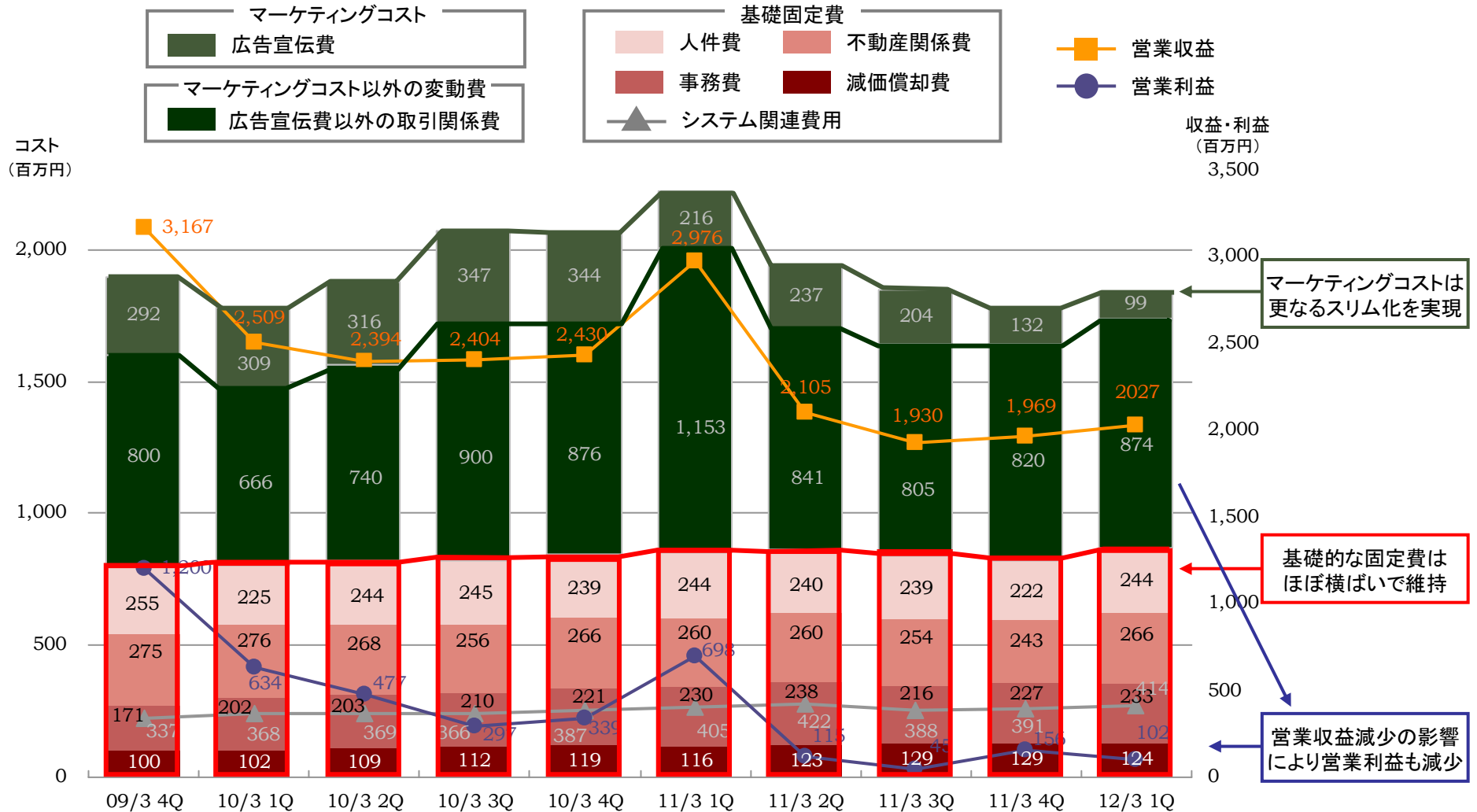
1. 広告宣伝費は費用対効果を重視した広告戦略の継続により33百万円減少し99百万円となった。
2. システム関連費用(旧電算機費)はデータセンター集約に伴う一時的費用増加等により23百万円増加し414百万円となった。



四半期固定費及び変動費推移

Money Partners Group

◆主要な固定費・変動費の推移



マーケティングコストは抑制したものの、取引関係費の増加に加え基礎固定費が横ばいに推移した結果、コスト構造全体では前四半期比増となった。

マーケティングコストは更なるスリム化を実現

基礎的な固定費はほぼ横ばいで維持

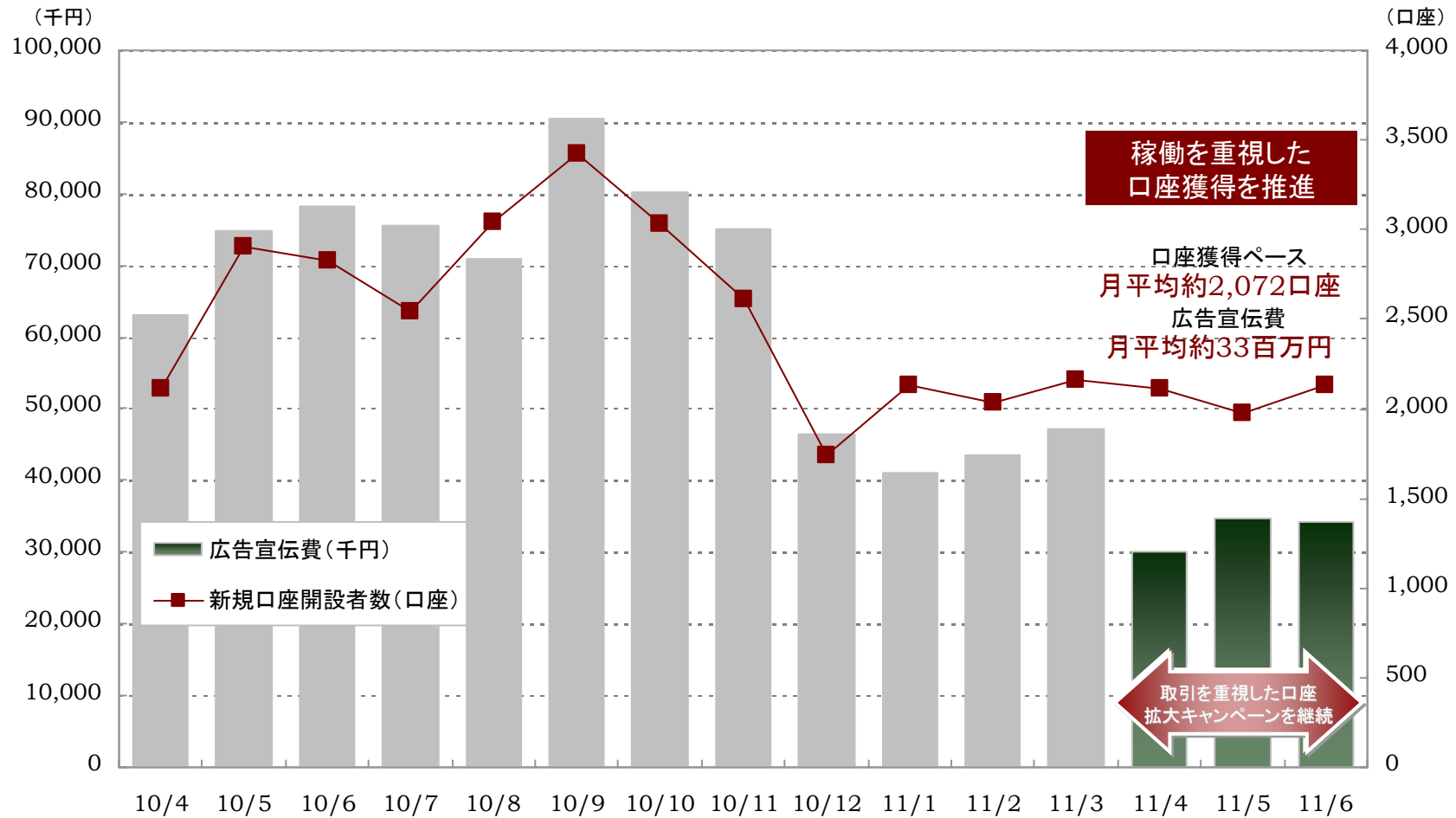
営業収益減少の影響により営業利益も減少



月次広告宣伝費の推移

Money Partners Group

◆ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



広告宣伝費は4月に入り、更に抑えているものの、口座獲得ペースは1月以降安定的に推移。



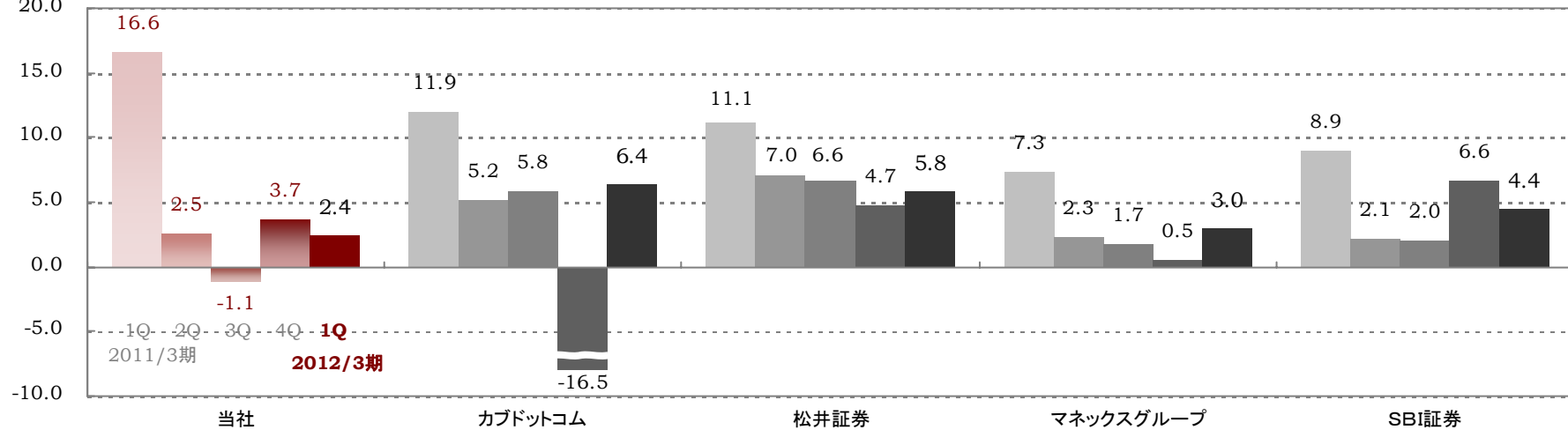
主要経営指標推移

Money Partners Group

◆主要ネット証券とのROE及び営業収益経常利益率比較

(%)

【主要ネット証券四半期ROE比較】



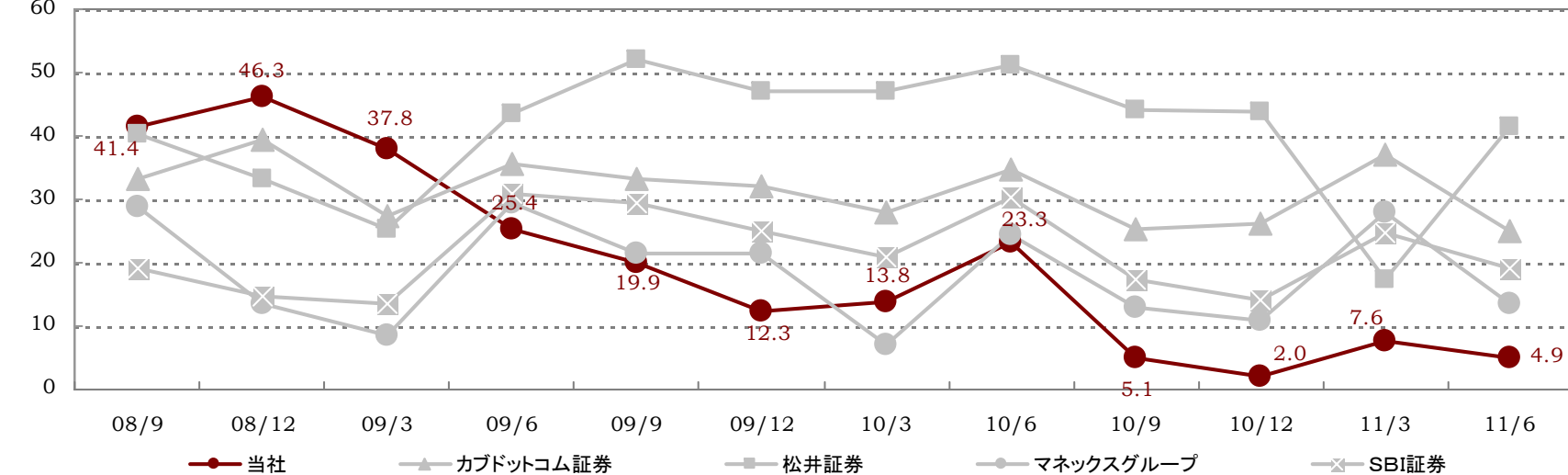
※：四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

なお、他社データにつきましては、各社IR資料より当社が作成しております。

(%)

【主要ネット証券四半期営業収益経常利益率比較】





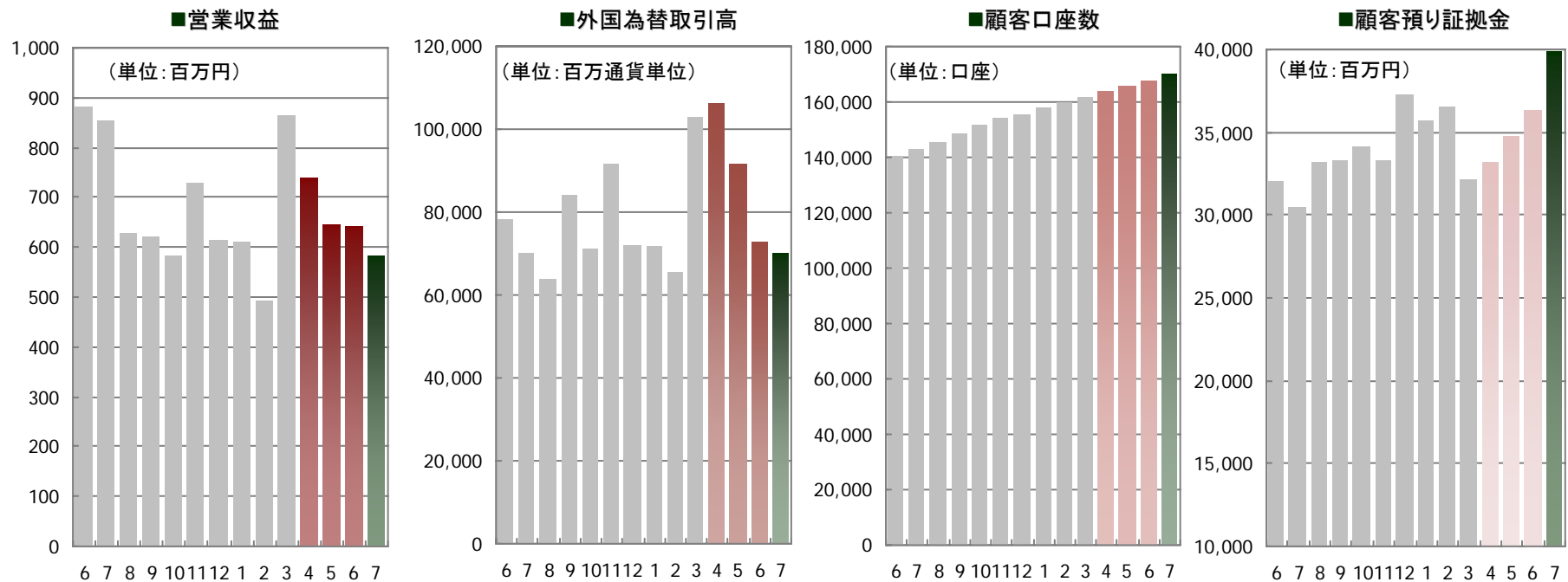
月次業績指標推移

Money Partners Group

◆月次営業収益、取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
営業収益(百万円)	882	855	627	622	584	729	616	611	493	863	738	645	643	584
取引高(百万通貨単位)	78,141	69,980	63,673	84,155	71,247	91,748	72,162	71,791	65,614	102,934	106,089	91,504	72,784	70,070
顧客口座数(口座)	140,592	142,846	145,622	148,898	151,789	154,260	155,852	157,862	159,773	161,785	163,794	165,636	167,644	169,764
顧客預り証拠金(百万円)	32,030	30,419	33,160	33,237	34,136	33,271	37,244	35,725	36,498	32,152	33,195	34,799	36,317	39,932

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。
顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。



顧客基盤、外国為替取引高とも堅調に推移

Ⅱ .2012年3月期第1四半期の取組みと重点課題の進捗状況





2012年3月期第1四半期の主な取組み

証拠金規制対応について

- ◆ 証拠金規制(レバレッジ25倍)の施行に伴う商品性変更準備

システム関連の取組み

- ◆ リッチクライアント取引ツール「HYPER SPEED NEXT」のリリースと機能追加(発注機能実装、システムトレード準備等)
- ◆ データセンター集約の最終段階に着手(2011年8月完了予定)。集約完了後はシステムコストの一段の効率化が期待

顧客向けサービス関連の取組み

- ◆ 代用有価証券サービスの評価掛目変更により、顧客の資金効率向上
- ◆ 既存顧客を対象に積極的なキャンペーンを展開

顧客基盤拡大に向けての取組み

- ◆ 強力な約定力を維持したままの、スプレッドに依存しない競争力強化
- ◆ 新たな店頭デリバティブ取引のサービス開始に向けた準備(CFD取引サービス開始の準備)
- ◆ 初心者向け取引「Partners FX nano」のスプレッド1銭固定化・無期限ロールオーバーによる顧客基盤の拡大、休眠顧客の掘り起こし

BtoBビジネスに関する取組み

- ◆ 海外証券会社等とのアライアンスの模索
- ◆ 大手事業法人・金融法人等のアライアンスの模索



2012年3月期の重点課題

	重点課題・重点施策	進捗状況
既存分野	▶ 顧客育成による事業基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・トレードレポート等顧客向けサービスの強化 ・FX取引顧客化への導線の多様化 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレードレポート紹介ページのリニューアル、対象顧客への訴求等 ・パートナーズFXnanoの商品性強化、女性向け施策の始動等新たな試みを実施
	▶ コスト構造の更なる筋肉質化 <ul style="list-style-type: none"> ・システムコスト、口座獲得コストの最適化 	<ul style="list-style-type: none"> ・H/Wの構成見直しに伴うコスト削減に取組み中 ・広告コストは継続的に見直しを図っており、新規稼働率は高水準を維持
	▶ 内部成長の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・プロパー顧客の取引拡大 ・取引高当たり収益性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種キャンペーンの実施やセミナーの開催等によりプロパー顧客の取引拡大に取組み中 ・大ロット超短期取引への対応等に加え、低ボラティリティ下でも一定の収益を獲得するべく改善を継続中
新規分野	▶ 実需向けサービスの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・外貨両替・受取サービスの知名度向上、利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨両替・受取サービスは順調に推移 ・当社の差別化戦略のひとつとして、新サービスの開発や既存サービスの更なる強化に取組んでいく
	▶ 新商品・新サービスの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい店頭デリバティブ商品のサービスイン ・ユーザーオリエンテッドな新サービスの開発・展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月下旬にCFD取引サービスを開始予定 ・資金移動業の登録申請に着手するとともに、新サービスの検討・開発に着手

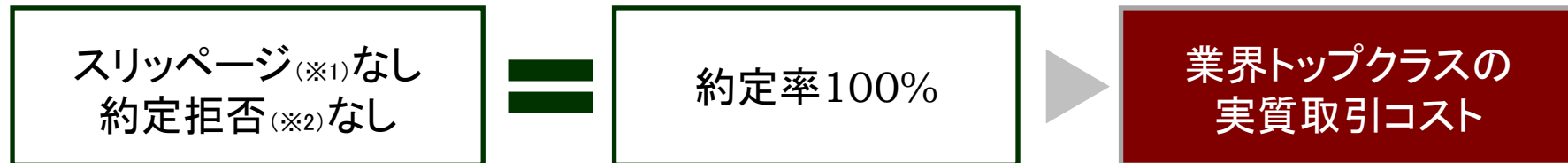
FXを軸にしたBtoCビジネスに経営資源を傾け、独自のポジションを確立する

Ⅲ. 当社グループの強みと今後の目指すべき方向性



◆ 業界最高水準の『約定力』

カタログスペックにはあられない顧客の“実質コスト”を考慮した商品設計
 大手シンクタンクが主要FX業者を対象とした調査の結果「約定力NO.1」の評価を獲得



(※1)注文を出した値段で約定せずに顧客に不利な方向にずれて約定してしまうこと、またはそのズレのこと。

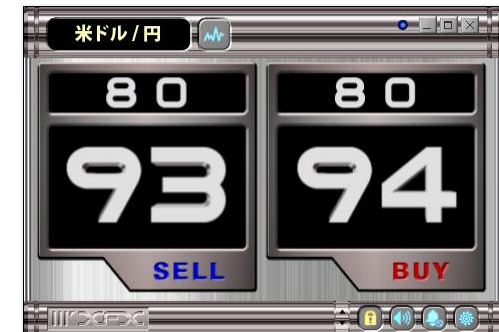
(※2)注文を出した値段で約定ができず注文がキャンセル(拒否)されてしまうこと。

◆ 証拠金100円から！『パートナーズFXnano』

最小取引単位は100通貨単位から。
 建玉必要証拠金は100円から。

～少額から実感のあるトレードが可能。
 デモトレードにはないリアルな体験が得られる

全通貨スプレッド1pip・無期限ロールオーバー



マネーパートナーズだけのオンリーワン※サービス

※2011年6月末現在(当社調べ)



差別化商品・サービス

Money Partners Group

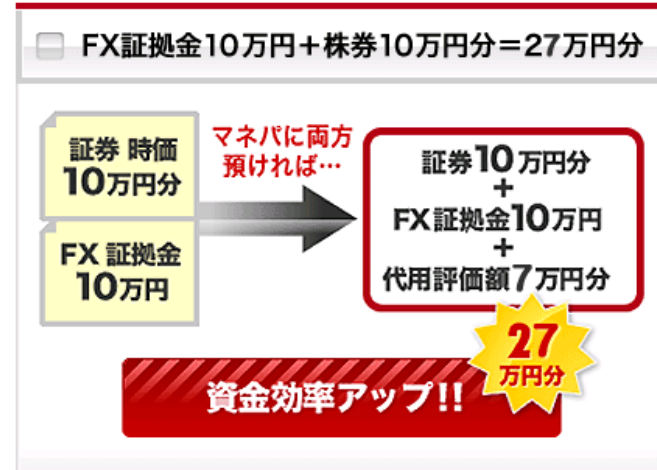
◆『証券取引、代用有価証券サービス』

- ・売却手数料は恒常的に無料
(口座開設後1ヶ月は買付手数料が無料となるキャンペーン実施中※)
- ・株式は、FX証拠金として代用が可能
- ・代用のままでも簡単に売却OK

7/25に代用有価証券サービスの評価掛け目を
50%→70%へアップ!
代用有価証券だけでFXが可能なのはマネーパートナーズのみ

※200万円以下の部分が対象。詳しくはマネーパートナーズ社HPをご覧ください。

代用有価証券を使ったFX取引のイメージ

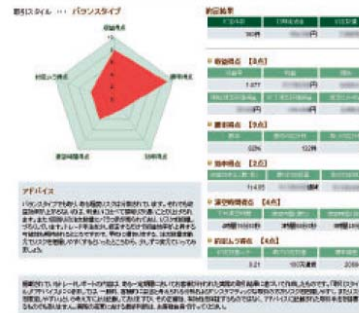


◆『外貨両替・受取サービス』



サービスの周知・浸透に伴い、利用件数も順調に増加
日経、ビジネス誌等、各種マスコミにも多数掲載

◆『トレードレポート』



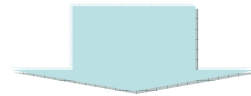
顧客の取引を5つのポイントから分析。



取引の傾向と対策を練ることが可能となり、FXの収益性向上が期待できます。

◆ カバー取引のためのシンジケート方式銀行保証枠を100億円に

2011年4月、カバー取引のためのシンジケート方式銀行保証枠を10億円拡大し極度額は100億円に設定

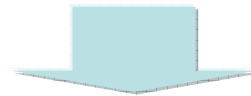


現金及び現金同等物41億円、短期差入保証金64億円(連結ベース)と併せ、

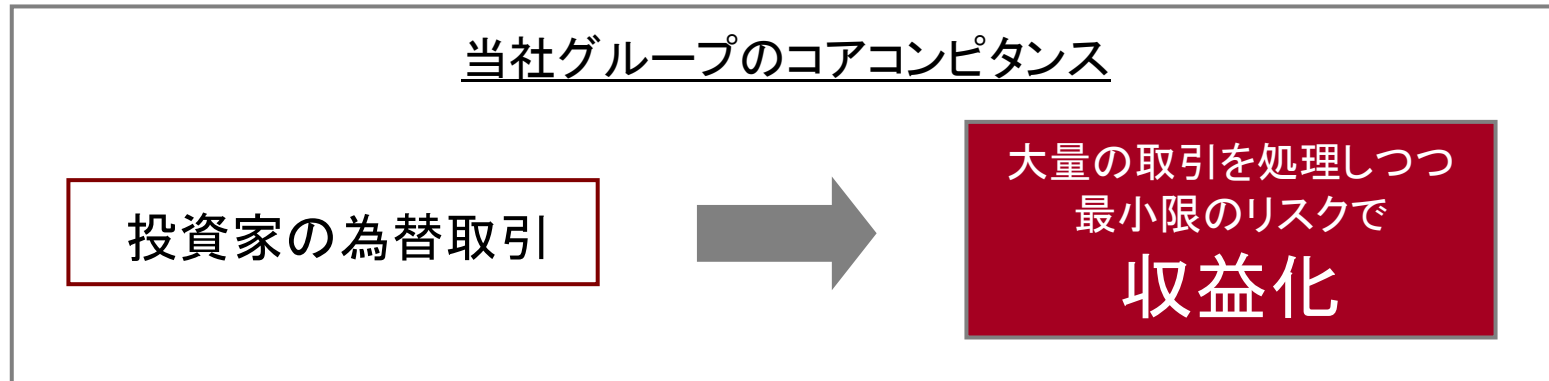
カウンターパーティリスクを低減しつつ、
相場急変時におけるカウンターパーティとのカバー取引の確実性を向上

◆ 連結ベースの純資産 9,514百万円(2011年6月末)

利益剰余金の増加56百万円、剰余金の配当による減少30百万円等により、2011年3月末比25百万円増となった



主要なFX業者と比較しても、高水準を維持

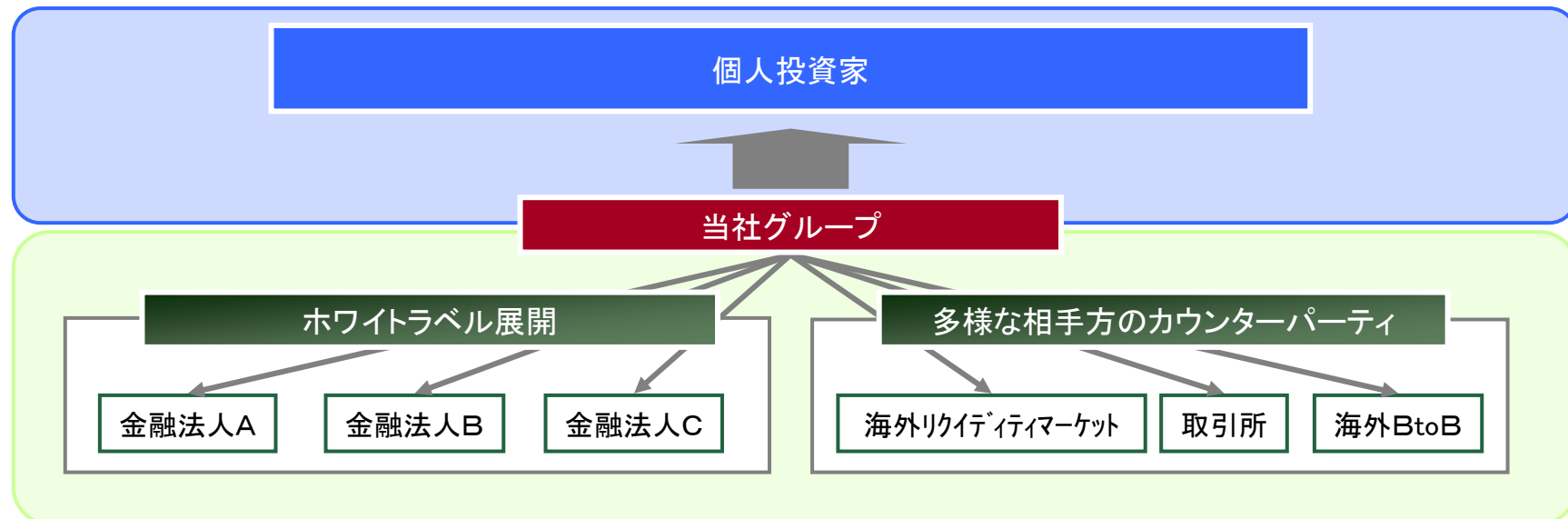


◆ BtoC向け

- ・コアコンピタンスを最大限活用し、個人投資家からの流動性を上げていく

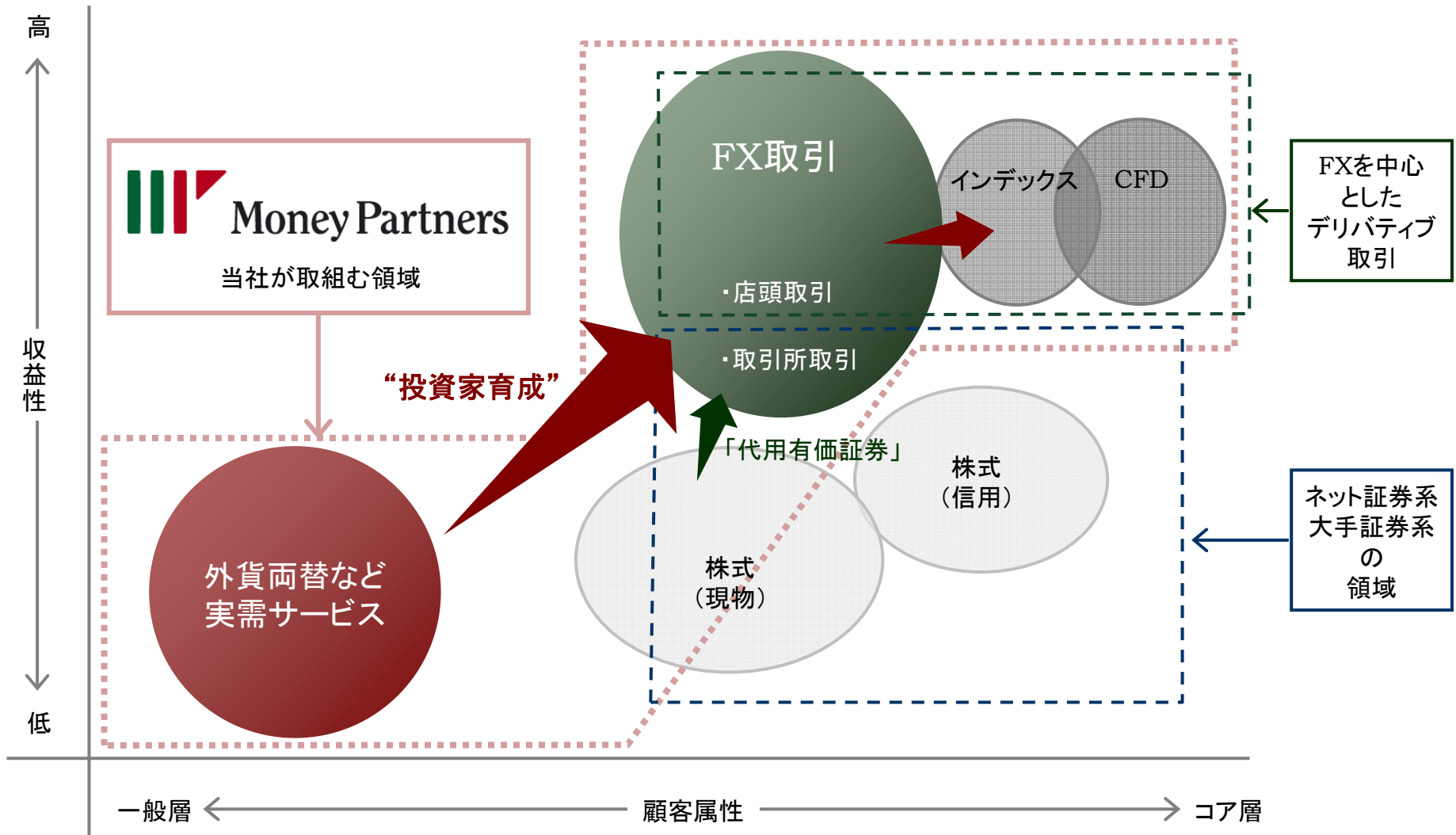
◆ BtoB向け

- ・国内外法人、取引所、海外LMへの全等位戦略
- ・ハブ、ECNとして世界に通用するリクイディティポータルを作る



中長期的な経営戦略 ～実需層への取組み強化

- 実需層への取組みを推進し、広く一般の投資家にも利用してもらえるFX会社を目指す



IV. 当社の経営目標及び株主還元について



ROE及び営業収益経常利益率の早期回復

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2012年3月期第1四半期(2011年4～6月)のROEは2.4%**

※: 2012年3月期第1四半期ROEにつきましては、下記計算式により算出しております。

$$\text{ROE} = (2012\text{年}3\text{月期第}1\text{四半期当期純利益} \times 4) \div ((2012\text{年}3\text{月期第}1\text{四半期期末自己資本} + 2011\text{年}3\text{月期第}4\text{四半期期末自己資本}) \div 2) \times 100$$

▶ **2012年3月期第1四半期(2011年4～6月)の営業収益経常利益率は4.9%**

営業収益の回復を早期に実現することにより、ROE、営業収益経常利益率の回復を目指して参ります。

業績向上に取組み、株主利益の向上に努める

利益還元方針

配当性向

・・・連結当期純利益の30%を目処

配当機会

・・・中間及び期末(年2回)

	2011年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	394	59	△26	87
配当金の総額 (百万円)	139		30	
期末発行済 株式総数(株)	321,480 (内、自己株式10,623)		321,480 (内、自己株式20,023)	
1株当たり 配当金	450円		100円	

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げによる利益還元の強化と、年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図り、株主利益の最大化を目指してまいります。

■ 第7期定時株主総会の日曜開催

当社は、株主総会を「株主の皆様と会社経営陣との大切な対話の場」ととらえ、できる限り多くの株主の皆様にご出席いただけるよう、第7回定時株主総会を日曜日に開催いたしました。





取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引および電話での決済注文に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の2%以上の額で、証拠金の約50倍までの取引が可能です。法人コース(パートナーズFXのみ)の場合、1万通貨単位あたり5千円から2万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約100倍までの取引が可能です。

CFD-Metals取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.5%の手数料(消費税別)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

2012年3月期第1四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ